

三菱重工が船用低速ディーゼルエンジンをディーゼルユナイテッドに製造委託  
～業務提携後、初の製造委託が実現～

三菱重工業株式会社（以下、三菱重工）と株式会社 IHI の 100%子会社である株式会社ディーゼルユナイテッド（以下、DU、所在地：東京都千代田区、社長：小嶋文稔）は、昨年 12 月、船用低速ディーゼルエンジンで業務提携に合意し、協業を進めてきましたが、今般、三菱重工が海外造船所より受注した三菱 UE 型船用低速ディーゼル機関 4 台を DU に製造委託することが正式に決定しました。

今回、DU が三菱重工から製造委託を受けた船用ディーゼル機関 4 台の型式は、いずれも三菱 6UEC50LSII(11,220PS×124rpm)です。DU の相生工場（兵庫県相生市）で生産し、2008 年 12 月から順次供給していく予定です。

三菱重工と DU が昨年末に合意した業務提携は、海外造船所向け輸出用船用ディーゼルエンジンの相互製造委託、共通する補用部品の相互融通、ならびに管理情報の交換に関するもので、それを受け、今回、初めての製造委託が実現しました。

三菱重工と DU は、船用低速ディーゼルエンジンの世界的な需要の高まりに応えるため、両社の生産設備の合理的な活用を推進、顧客により満足していただける製品・アフターサービスの提供を実現して、両社が手掛ける船用低速ディーゼルエンジン事業の拡大をはかっていきます。

両社はまた、同時に、バルチラ型大型船用低速ディーゼルエンジンについての技術的な交流を進める一方、ライセンサーであるバルチラ・スイス社とも積極的な協業を推進しています。

三菱重工と DU は今後も、引き続き提携を進め、シナジー効果を高めながら、船用低速ディーゼルエンジンの分野でトップシェアを占める MAN B&W 型エンジンを追撃していきます。

以 上